



令和3年1月7日 3学期が始まりました。

牛のように、歩みは遅くとも着実な1歩を進めていきましょう。143名の子どもたちがより良い学年のまとめができ、心身共に成長できますよう、私たち職員一同、力を尽くして臨みたいと思います。本年もよろしくお願いします。

3学期始業式での校長講話

みなさん、おはようございます。そして、新年の挨拶を全員でしましょう。

「明けまして、おめでとうございます。今年もよろしくおねがいします。」

今朝、健康で元気な笑顔の子どもたちに会うことができました。2学期終業式でお話した、気をつけてほしい3つのことをみんなが注意してくれたからこそです。まずはこのことをうれしく思います。

今、1年生と4年生の代表の3名の方が、みんなを代表して3学期の目標を発表してくれました。みんなでもう一度大きな拍手を送りましょう。

今年の干支はなんでしょう。「丑(うし)」で、動物としては牛です。十二支では2番目、丑の方位は、北北東です。

丑年には、先を急がず目のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくイメージがあるといわれています。このことをよい面ととらえ、私たちもこの1年、最高の自分、最高の学校づくりに向けて着実な歩みをしましょう。

ところで令和2年度もあと3か月となり、3学期の登校日数は47日です。3か月後にはみんな1つずつ進級します。6年生はいよいよ中学生となります。今の学年のまとめをすると共に、次の学年への心構えをしていく時でもあります。しばらくは冬の厳しい寒さが続きます。5月の校長講話でお話したように、春になって美しい花を咲かせるために、自分を鍛え、しっかりと根を張りましょう。

3学期、私から皆さんに1つのお願いがあります。「『感謝の心』を大切にしよう」ということです。これまで育ててくださったお家の方、地域の方、先生方が、皆さんにどんなことをしてくださったのかを振り返ってみてください。そうするだけでも感謝の心が育っていくことと思います。

結びになりますが、3月18日には卒業式があります。1年間の中で最も大切な行事です。これまでお世話になった33人の6年生に感謝の気持ちを表せるような式をつくりあげましょう。

◇新任の先生の紹介◇

始業式の中で、校長先生から新任の先生の紹介がありました。